

飯舘村鳥獣被害対策実施隊 今年度の活動をスタート



編成会議では、昨年度の成果などを踏まえて隊員が意見を出し合い、今年度の活動を話し合いました

4月5日、『飯舘村鳥獣被害対策実施隊』の編成会議が村役場で行われ、今年度の体制を整え、活動内容やスケジュールを協議しました。

編成会議の冒頭で、隊員への委嘱状交付が行われ、隊長に北原経さん(宮内)、副隊長に原田直志さん(深谷)が再任で選出されました。また、ニホンザルの捕獲を重点的に行う「サル駆除プロジェクト」は、今年度も継続されます。

実施隊は、同日、綿津見神社で安全祈願を行い、今年度の活動をスタートしました。

飯舘村地域おこし協力隊 松本奈々さんが卒業

飯舘村地域おこし協力隊として活動してきた松本奈々さん(深谷)が3年間の任期を満了。3月31日に協力隊の卒業式が行われました。松本さんは、クリエイターと村をつなぐ様々な活動を展開し、地域おこし会社「合同会社MARBLING(マーブリング)」を設立。卒業後も村内に居住し、旧コメリの建物を活用する事業などを継続します。松本さんは「充実した3年間でした」と感謝し「人と人とがつながり合って暮らす素敵な村。これからも皆様と共に歩みたい」と決意を語りました。



卒業証書の授与は村議場で。杉岡村長は、先駆者としての苦労を労いさらなる飛躍に期待を伝えました

相馬看護専門学校の新生に 杉岡村長が講話を行いました

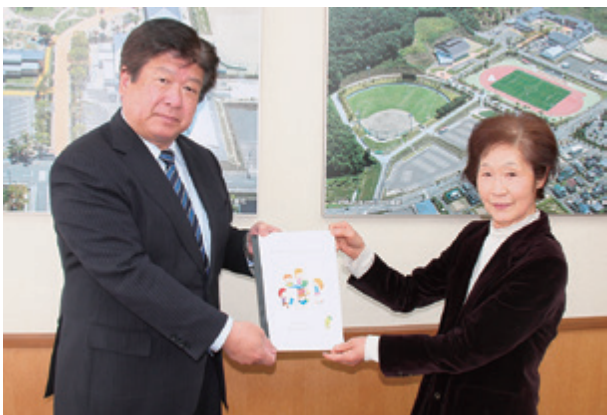


「皆の望みの中に若い人は生きている。いきいきと羽ばたいてほしい」とメッセージを送る杉岡村長

『相馬看護専門学校』は、相馬地方広域市町村圏組合が設立した公立の看護学校。同組合で副管理者を務める杉岡村長が、4月11日、新生オリエンテーションで講話を行い、飯舘村の風土や歴史、復興にかける人々の姿などを紹介しながら、若い世代への期待を伝えました。新生の大貫粧子さんは「被災地で医療に携わりたいと考え入学しました。講話を聞いて飯舘村に行ってみたいと思いました」と話していました。同校では今年度から村内での看護実習を再開する予定です。

子ども読書活動推進計画 社会全体での取り組みを

『飯舘村子ども読書活動推進計画』が完成し、3月28日、策定委員会が村教育委員会に計画書を提出しました。この計画は、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにする」子どもの読書活動を推進するための計画で、第6次総合振興計画を踏まえ、基本となる方向性や、取り組むべき施策をまとめています。村は、この計画に込められた思いを関連機関と共有し、読書に親しめる環境づくり、人材育成と協力体制の充実を、総合的に推し進めていきます。



策定委員会の長正サツキ委員長(大久保・外内)が遠藤哲教育長に計画書を手渡しました

法務大臣感謝状と 人権擁護委員委嘱状を伝達



左から、鈴木支局長、法務大臣感謝状を手にする佐藤さん、新任の委嘱を受けた山田さん、杉岡村長

4月12日、「法務大臣感謝状及び新任人権擁護委員委嘱状伝達式」が、役場本庁舎で行われ、6年半にわたり委員を務めた佐藤峯夫さん(宮内)に感謝状が、新任の山田郁子さん(伊丹沢)に委嘱状が、鈴木理香福島地方法務局相馬支局長から伝達されました。杉岡村長は、「人権相談をはじめ各種啓発活動に大きく貢献された」と佐藤さんに感謝の言葉を送り、山田さんへは「役場職員のご経験を生かし、村民に寄り添いながら人権擁護思想の高揚に努めていただきたい」と期待を伝えました。

飯舘村消防団辞令交付式 期待の若手が入団しました

4月1日、令和4年度飯舘村消防団辞令交付式が行われました。今年度は新たに荒竜也さん(飯樋町)が入団。将来の地域防災を担う若手が団の一員となりました。杉岡村長は、「消防活動に従事いただくことに改めて感謝申し上げます」と団員を激励し、退職者にはこれまでの感謝を伝えました。また同日、消防車両交付式が行われ、小型動力ポンプ付積載車4台が配備されました。赤石澤傳団長(飯樋町)が「点検・整備を怠ることなく、有事の際に迅速に出動できるよう努めます」と謝辞を述べました。



緊張した面持ちで赤石澤団長から辞令交付を受ける、新入団員の荒さん。貴重な若手が仲間入りです